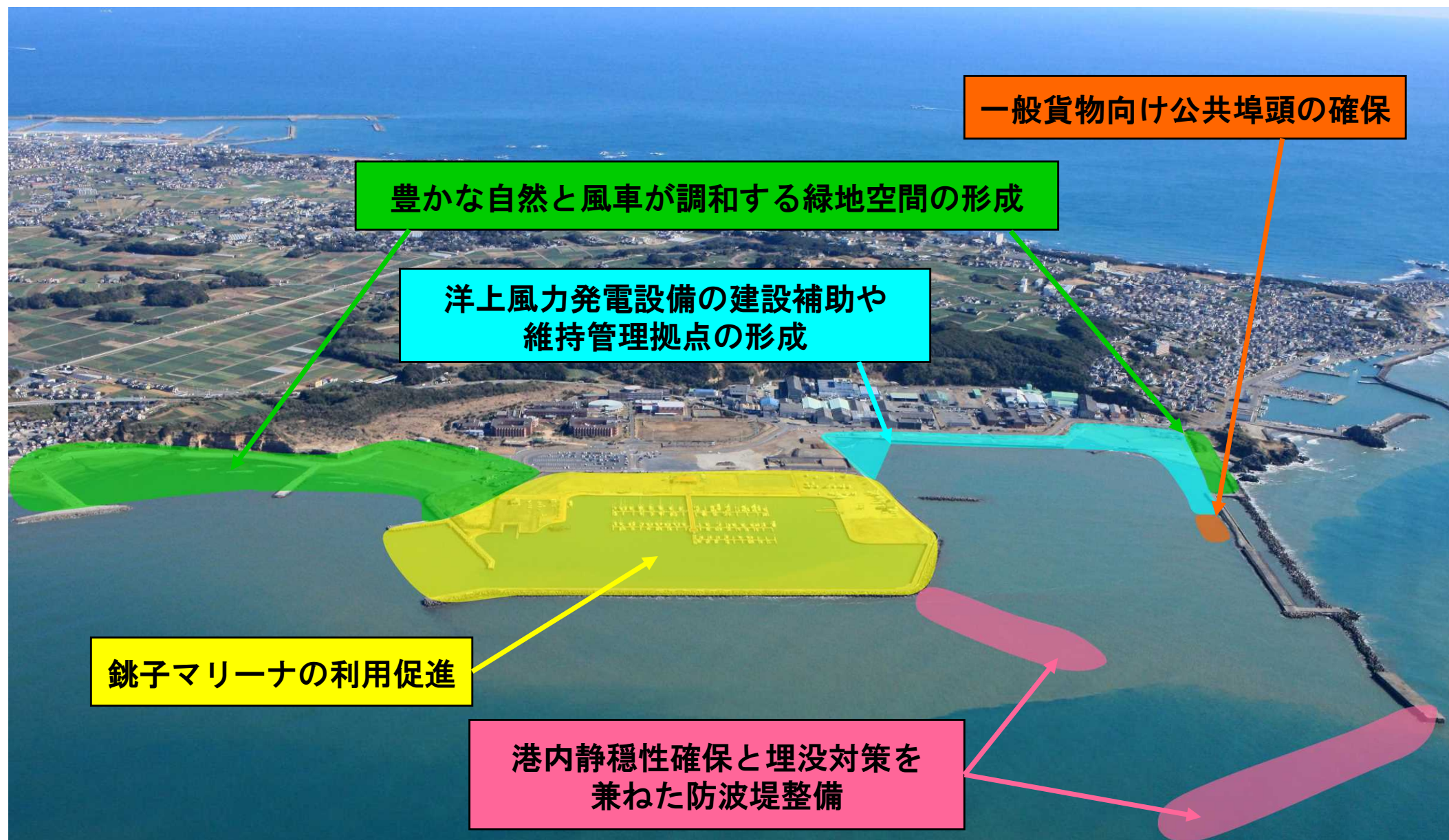


5. 港湾計画の方針

5. 1. 名洗港の課題



5. 港湾計画の方針

5. 2. 名洗港の将来像

目標年次・将来像

目標年次:2030年代半ば

将来像: 「洋上風力発電と地域産業の発展を支える名洗港」
「エコツーリズムと海洋性レクリエーションを体感できる名洗港」
「自然環境保全と洋上の風車が調和する名洗港」
「小型船舶が避難可能な名洗港」

港湾計画の方針

物流・産業

- ①洋上風力発電を支える港湾への機能転換
- ②洋上風力発電の推進による雇用創出・地域活性化への貢献
- ③背後地域の産業の物流効率化・付加価値を高める海上輸送拠点の確立

観光・交流 アメニティ

- ④風車景観とジオパークを調和したエコツーリズム拠点の形成
- ⑤海洋性レクリエーション活性化に資する銚子マリーナの拠点化

環境

- ⑥自然景観と風車景観が調和した名洗港の一体的な港湾景観の創出
- ⑦カーボンニュートラル促進への貢献

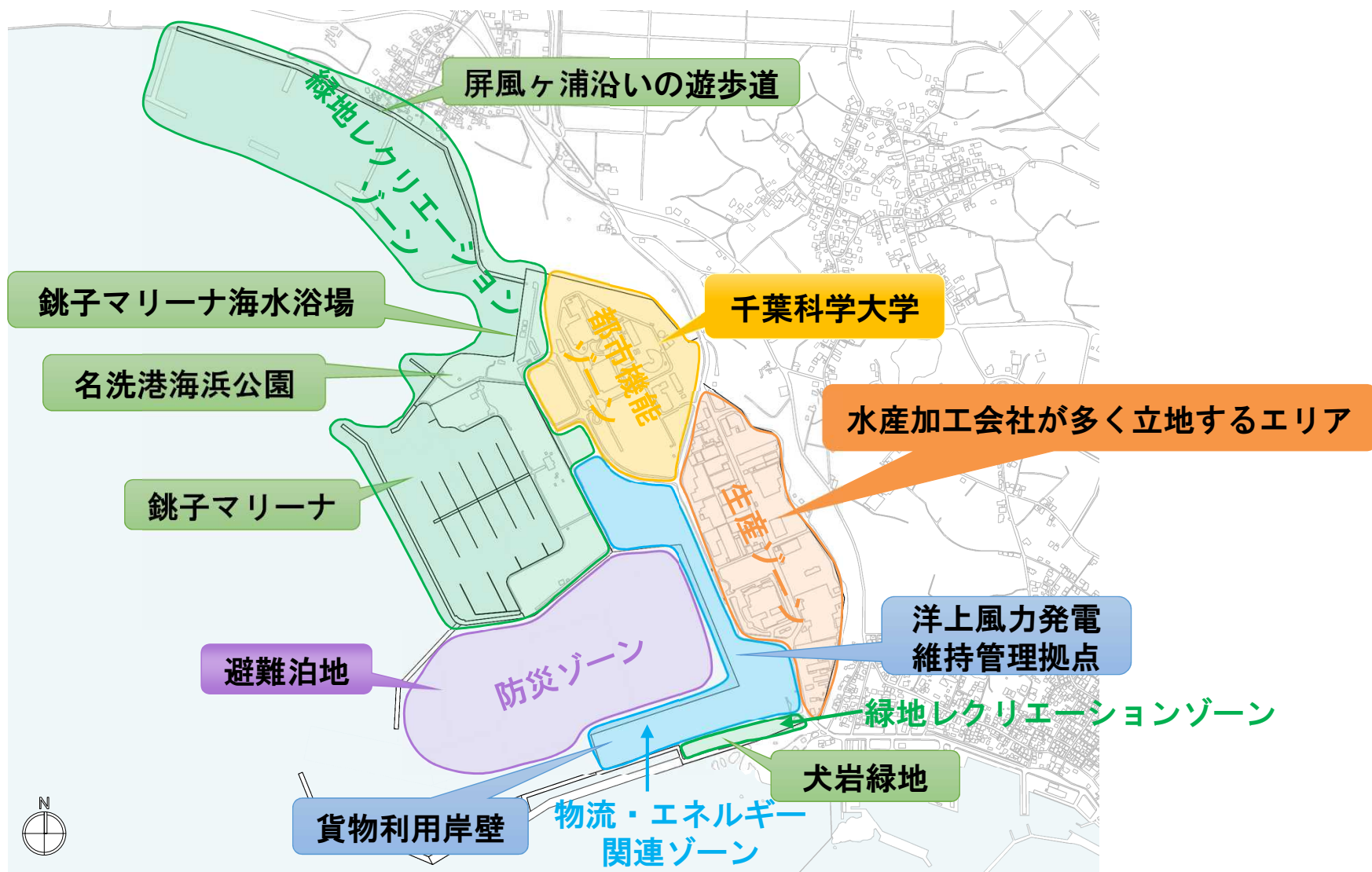
防災

- ⑧避泊需要に対応した小型船舶の避難泊地の確保
- ⑨エネルギー代替性向上に資する洋上風力発電の維持管理拠点の形成

5. 港湾計画の基本方針

5. 3. 港湾空間利用ゾーニング

- 洋上風力発電関連施設および一般貨物が利用するエリアに、「物流・エネルギー関連ゾーン」に位置づける。
- その他のエリアは、陸域・水域の将来利用想定を踏まえ、「緑地レクリエーションゾーン」、「都市機能ゾーン」、「生産ゾーン」「防災ゾーン」に位置付ける。
- 背後圏との広域連携の視点における名洗港に求められる機能については、「銚子市都市計画マスタープラン」や「銚子市総合計画」に位置付けるなど、地元市と連携していくものとする。



6. 港湾の能力

6. 1. 港湾の能力

目標年次(2030年代半ば)における
取扱貨物量、入港船舶隻数、船舶乗降旅客数

取扱貨物量 (内貿のみ)	14万トン
入港船舶隻数	1,849隻
船舶乗降旅客数等	1.1万人

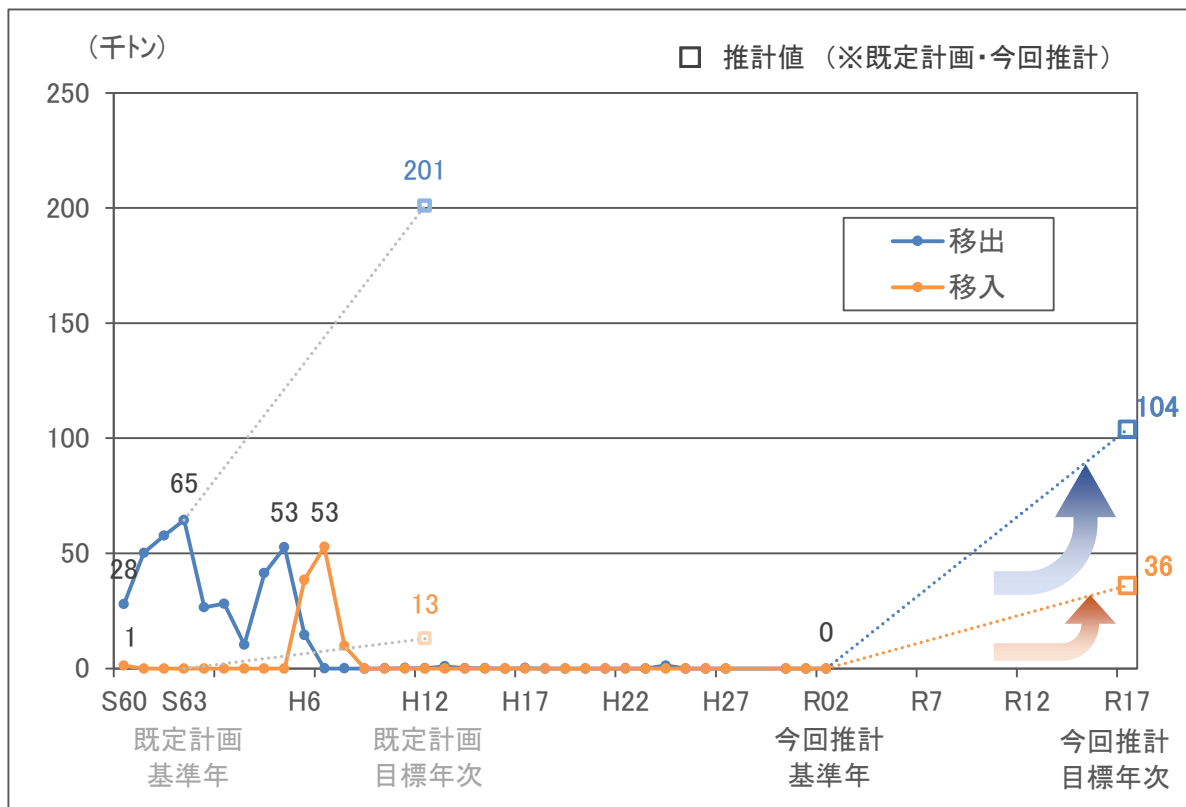
6. 港湾の能力

6. 2. 取扱貨物量の設定

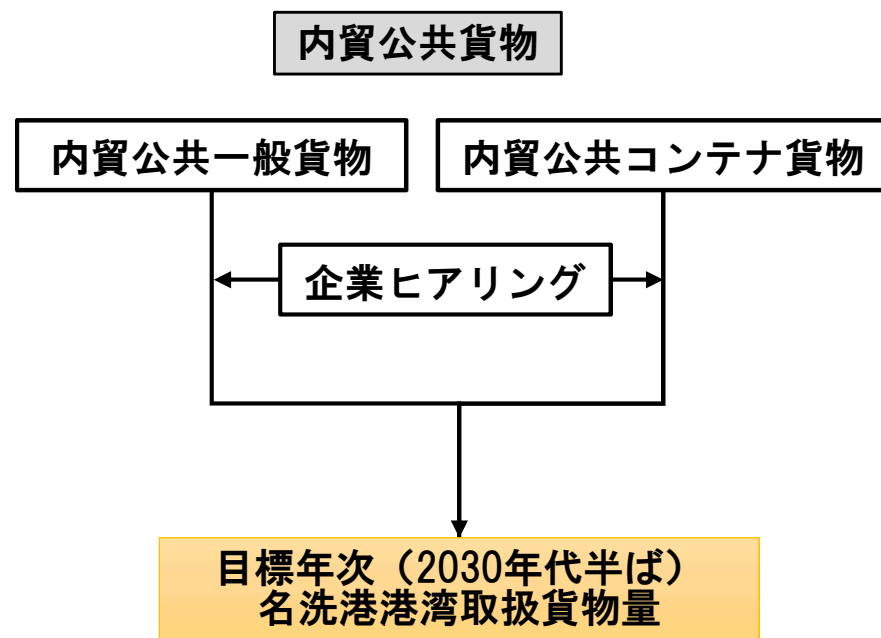
(1) 取扱貨物量の将来推計

- 名洗港の目標年次(令和17年)における取扱貨物量は、移出104千トン、移入36千トン、合計140千トンまで増加することを見込む。
- 既定計画の推計値214千トンに対して約65%の取扱貨物量の推計値となった。

取扱貨物量の実績および将来値（出入別）



取扱貨物量の推計フロー



6. 港湾の能力

6. 2. 取扱貨物量の設定

(2) 品目別の将来貨物量推計

- 名洗港の背後地域に立地する企業にアンケート・ヒアリング調査を行った結果、銚子市や旭市の主要産品である「水産品(移出)」の新規貨物需要が確認された。
- その他、「ガラス類(移出入)」「染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業(移出入)」「動植物性製造飼肥料(移出入)」の新規貨物需要も確認された。

品目別取扱貨物量の推計値

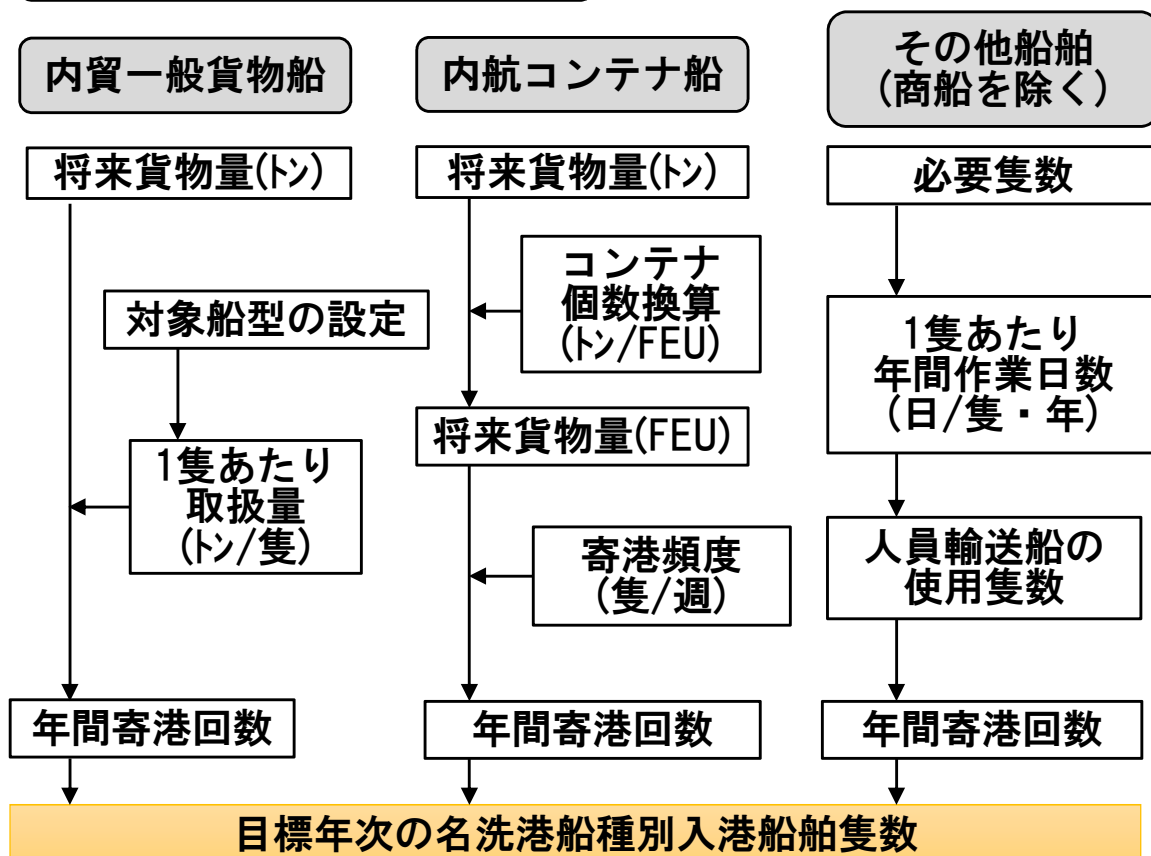
(千トン)					
品目別	出入別	今回推計値(R17)	今回推計根拠	既定計画推計値(H12)	既定計画 貨物推計根拠
豆類	移出				【新規貨物】醤油メーカーへのヒアリング 静岡県からトラック輸送している原料用大豆:12千トン
	移入			12	
	計			12	
水産品	移出	81	【新規貨物】銚子漁港の水産加工品用出荷量から推計 ・流通実態は水産加工業者へのヒアリング結果を参考 ・移出(内資):東北・九州・四国向け冷凍水産品 ・移出(国際F):輸出处向け冷凍水産品	91	【新規貨物】銚子地区水産加工組合へのヒアリング 四国・九州向けのハマチ養殖用冷凍加工品:91千トン
	移入				
	計	81		91	
砂利・砂 (砂利・砂、石材)	移出			24	【既存貨物】S63実績程度:24千トン
	移入				
	計			24	
鉄鋼	移出				【既存貨物】S63実績程度:1千トン
	移入			1	
	計			1	
電気機械	移出	1	【新規貨物】洋上風力発電事業者へのヒアリング 洋上風車メンテ部品・工具1千トン		
	移入				
	計	1			
ガラス類	移出	15	【新規貨物】リサイクル建材製造会社へのヒアリング ・移出:リサイクル建材の販路拡大15千トン ・移入:リサイクル建材の調達量増加10千トン		
	移入	10			
	計	25			
窯業品	移出			45	【既存貨物】S63実績程度:40千トン 【新規貨物】ブロック製造会社へのヒアリング コンクリートブロック5千トン
	移入				
	計			45	
染料・塗料・ 合成樹脂・ その他化学工業品	移出		【新規貨物】電気製品製造会社へのヒアリング 愛知からトラック輸送している塗料:14千トン		
	移入	14			
	計	14			
その他 食料工業品	移出			41	【新規貨物】醤油メーカーへのヒアリング ・北海道、東北、九州向け醤油:41千トン
	移入				
	計			41	
動植物性 製造飼肥料	移出	7	【新規貨物】飼料製造会社へのヒアリング ・移出:東北・四国・九州向け飼料用魚粉(製品):15千トン ・移入:北海道・東北・中部からの飼料用魚粉(原料)12千トン		
	移入	12			
	計	19			
合計	移出	104		201	S63実績:65千トン⇒H12目標214千トン(約3.3倍増)
	移入	36		13	
	計	140		214	

6. 港湾の能力

6. 3. 入港船舶隻数の設定

- 企業へのアンケート・ヒアリング結果や、将来貨物量の推計値より、目標年次における名洗港の船種別利用船舶隻数の推計を行った。
- 入港船舶隻数の推計の結果、内航商船が年間202隻、その他船舶が1,647隻、合計1,849隻という結果となった。なお、その他船舶は洋上風力発電で使用する人員輸送船の隻数を示しており、出港頻度の高い人員輸送船の入港船舶隻数が大半を占めている。

入港船舶隻数の設定フロー



入港船舶隻数の算定結果

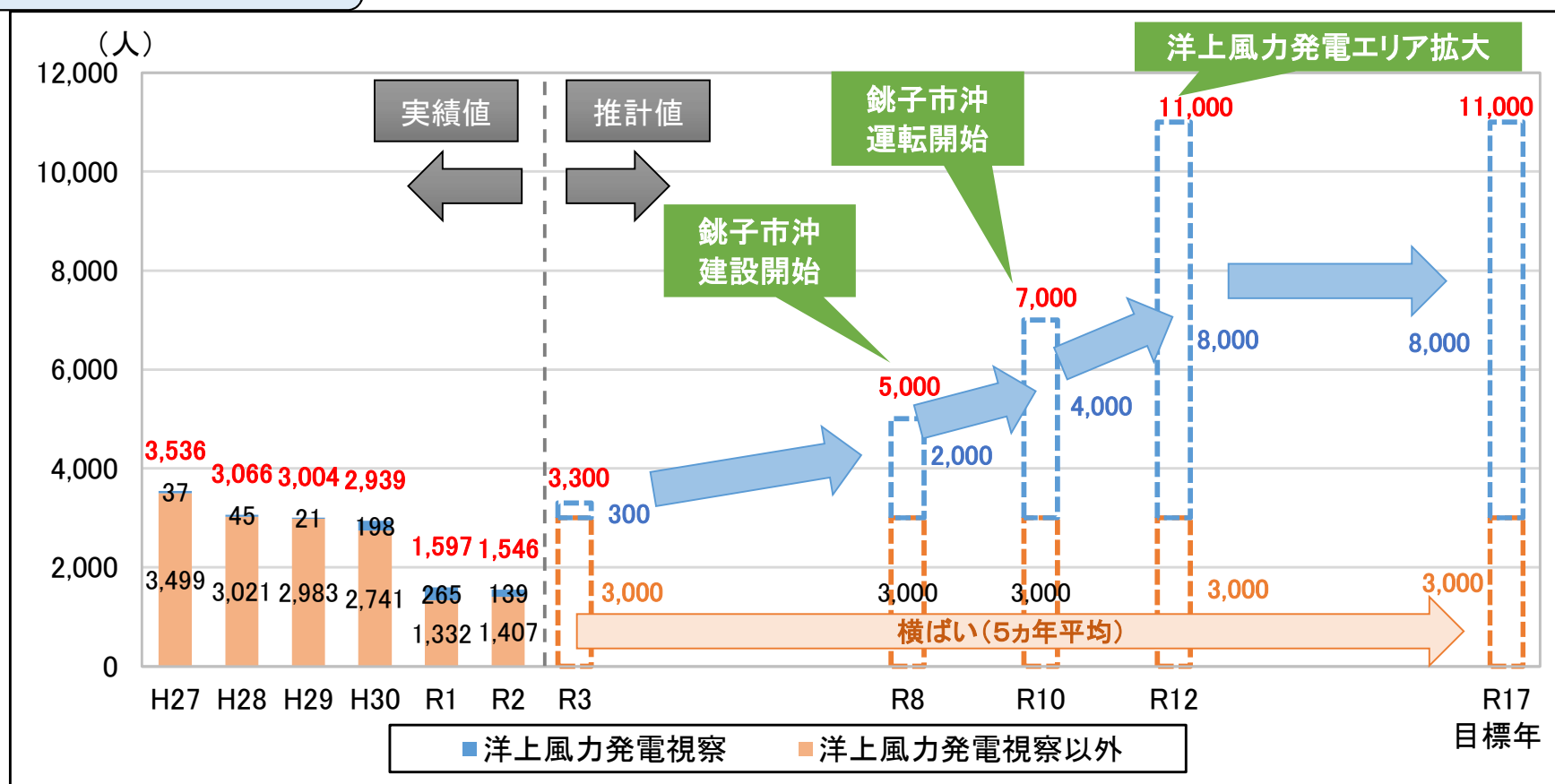
船種	入港船舶隻数（隻/年）		
	合計	500GT未満	500GT以上
内航商船	202	189	13
内貿一般貨物船	46	33	13
内航コンテナ船	156	156	
その他船舶	1,647	1,647	
合計	1,849	1,836	13

6. 港湾の能力

6. 4. 船舶乗降旅客数の設定

- 銚子市沖洋上風力発電事業の運転管理やメンテナンス等の目的で、銚子市・銚子市漁協・銚子商工会議所が共同設立したC-COWS(株)や、銚子市沖洋上風力視察受け入れ協議会では、洋上風力発電視察コースの検討を行っている。
- 事業者へのヒアリングより、洋上風力発電事業が推進されることで、将来的に洋上風力発電視察の乗客数は増加すると見込んでいることが確認された。
- イルカウォッチングツアー(洋上風力発電視察以外)については今後も現状程度の乗客数を見込む。
- 目標年次における船舶乗降旅客数の推計結果としては、合計年間11,000人の乗降客数を見込む。

船舶乗降旅客数の推計結果



資料：銚子海洋研究所、C-COWS(株)提供資料より作成

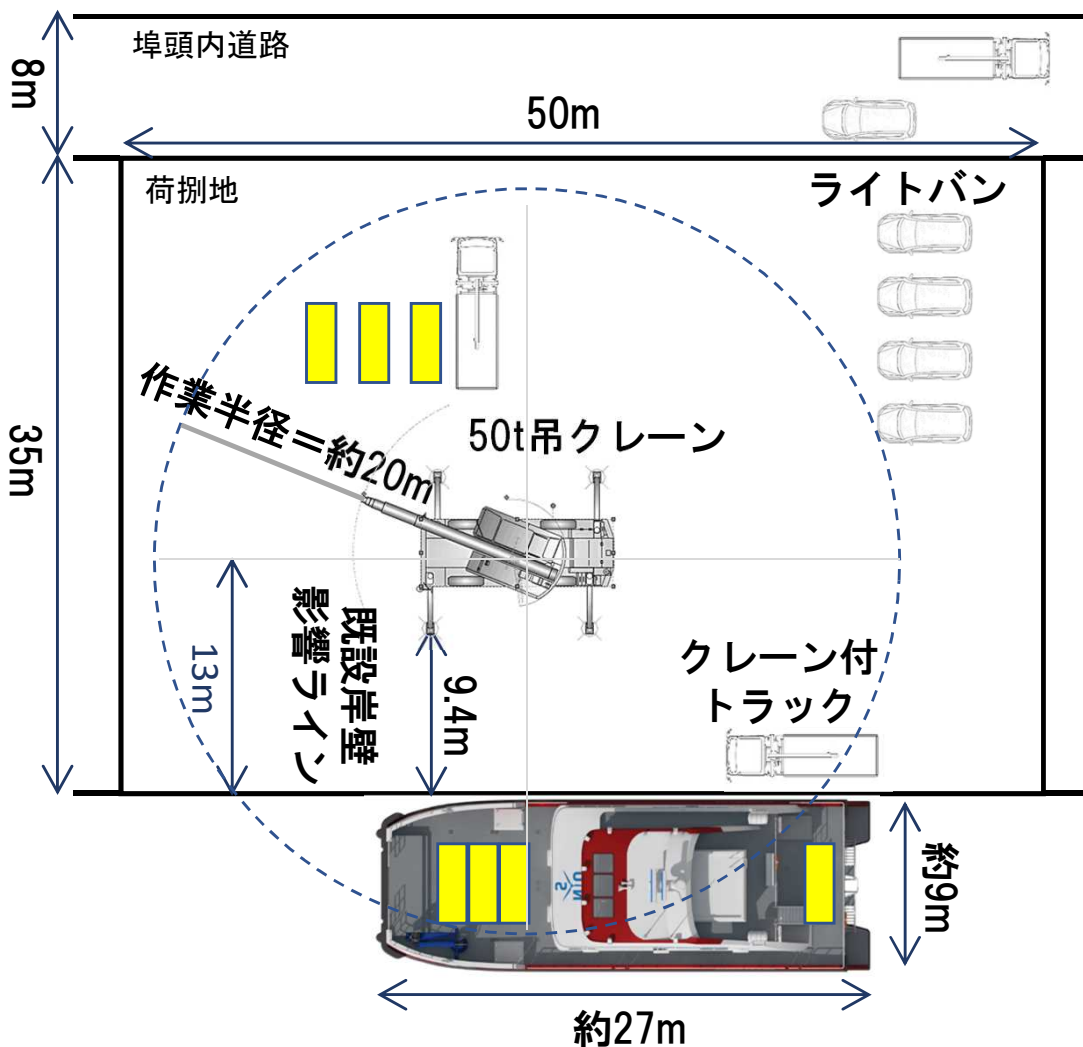
7. 改訂計画（案）の内容（港湾施設の規模及び配置）

7. 1. 公共埠頭計画

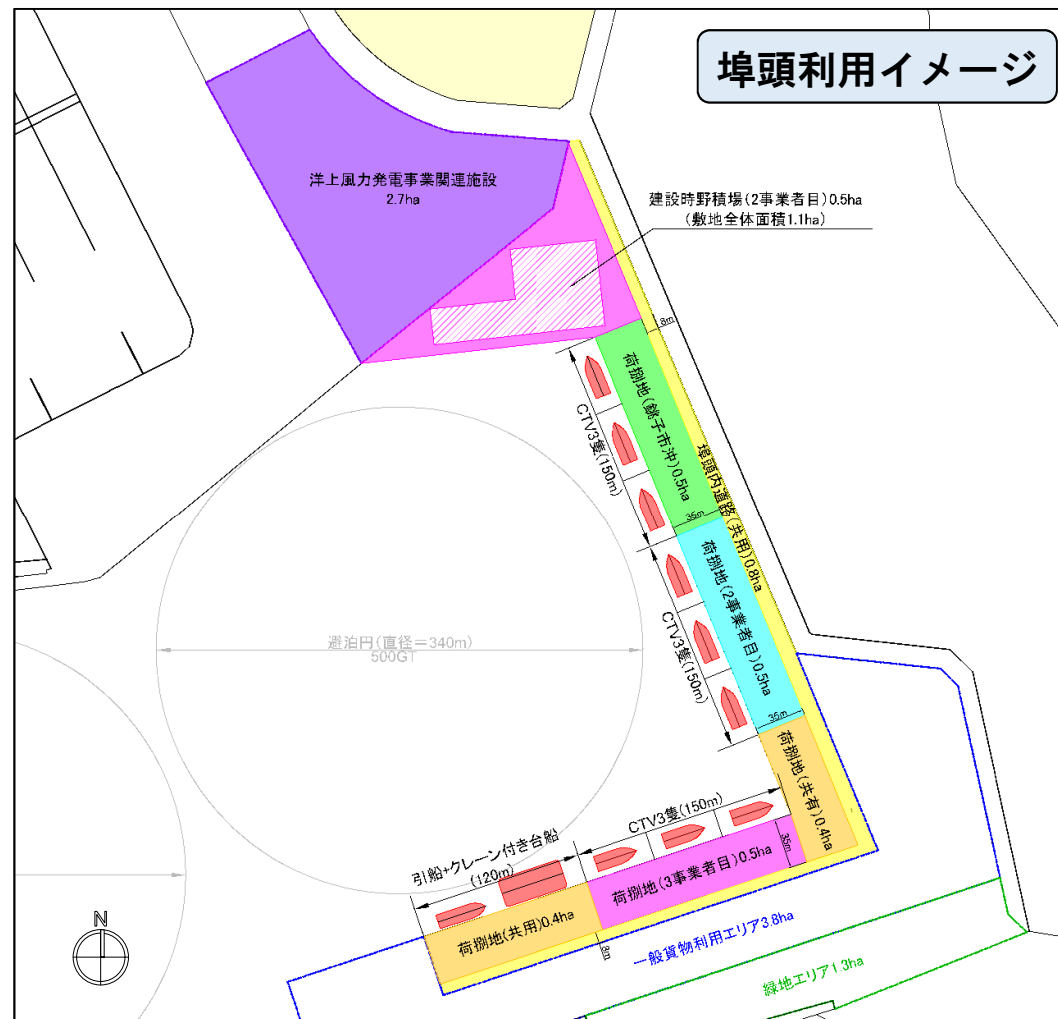
【参考】洋上風力発電事業による公共埠頭の利用イメージ

- 公共埠頭は輸送車両や荷役機械（移動式クレーン）で利用され、人員輸送船（CTV）1隻あたり50m×35mの区画に設定した。
- 1事業あたり3隻、3事業の合計で9隻のCTVが利用する計画とした。また、不定期にクレーン付き台船や引船が利用する計画とした。

背後用地の資機材配置イメージ



埠頭利用イメージ

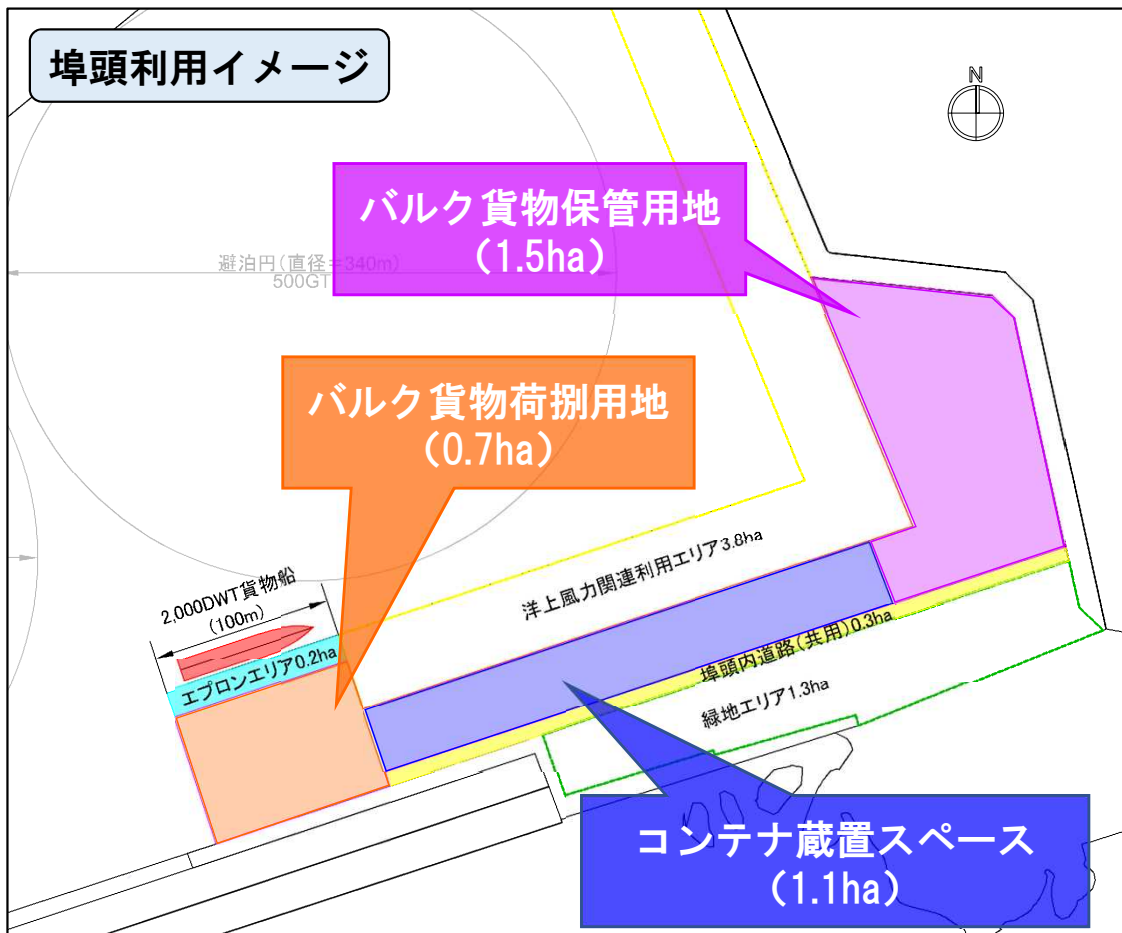


7. 改訂計画（案）の内容（港湾施設の規模及び配置）

7. 1. 公共埠頭計画

【参考】貨物による公共埠頭の利用イメージ

- 岸壁背後にはバルク貨物の荷捌用地(0.7ha)、コンテナ蔵置スペース(1.1ha)、バルク貨物保管用地(1.5ha)を確保する。
- 限られた埠頭用地でバルクとコンテナを併用するため、多目的クレーンで荷役を行う計画とした。また、狭いスペースでも横持ちが容易なリーチスタッカーを使用する計画とした。



小規模コンテナターミナルのイメージ



出典：東ソー物流株式会社HP